

## 令和6年度からの新任介護相談員を紹介します!



### 伊藤伸子さんからの一言

介護相談員のことは、広報紙や市のホームページで知りました。介護保険事業所等の利用者や職員の皆様からの話を聞き、少しでもお役にたつことが出来ればと思っています。皆さまにお会いできることを楽しみにしています。



## 令和5年度 活動状況

- 市内介護施設への訪問:1人、または2人で訪問しました。
- 連絡会議:月1回、活動報告や情報交換をしました。
- 研修状況等:養成研修(介護サービス相談員の意義と役割、グループワーク)参加  
新規介護保険事業所訪問及び意見交換会の開催

令和5年度の訪問事業所(順不同) ご協力ありがとうございました。

令和6年2月29日時点

特別養護老人ホーム	あすか、とこは、永福荘、みどりの園、かなや、ひざり
介護老人保健施設	さくら、アポロン伊太、アポロン
ショートステイ(生活介護)	あすか、とこは、永福荘、みどりの園、かなや、ひざり
ショートステイ(療養介護)	さくら、アポロン
グループホーム	あすか、アポロン伊太、郷の家、汽笛、ミモザ島田神座、ひざり、まーがれっと島田、ケアクオリティおかりや、あったか広場一会、ケアクオリティ初倉、あかり、アクタガワハートフルホーム島田東
特定施設入居者生活介護施設	クオリティリビングおかりや、シンシア島田、でらいと島田、金谷ケアパークそよ風、ラ・ナシカしまだ
小規模多機能型居宅介護	コミュニティーケア笹間渡、ミモザ島田初倉、一期一会の和、縁がわあずま、アポロン伊太、一期一会のゆかり、あったか広場一会
デイサービス	ミモザ島田初倉、あすか、古民家デイなずな、とこは、メルシー島田、川根デイ、合歓の家、一期一会のデイ御飯屋、ツクイ岸町、みどりの園、たんぼぼデイサービス金谷、エッジ、あおぞらデイサービスセンター島田、くぼた、かなや、グラシア島田、スマイルアシスト、アサヒサンクリーンデイサービスセンター島田、縁がわ、すまいる、ほほえみの里、結、きたえる一む島田、湯日の家、水のさんち、旗指の家、ちゃちゃ

発行・問合せ

【事務局】島田市長寿介護課 〒427-8501 島田市中心1番の1 島田市役所  
【電話】0547-34-3294 【FAX】0547-37-8200 【E-mail】kaigo@city.shimada.lg.jp

# 島田市緑茶化計画

## 島田市・介護相談員だより

No.20 2024 3月

発行 島田市介護相談員  
事務局 島田市長寿介護課

# ほうらい



本市の人口は、令和6年1月31日時点で、95,583人であり、高齢化率は32.2%、要支援・要介護認定率は、14.7%であります。生産年齢人口(15~64歳)は減少傾向である一方、高齢者(65歳以上)人口は増加傾向にあります。

このような状況の中、高齢者の方が可能な限り住み慣れた地域で、その方が持っている能力に応じて自立した日常生活を送れるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を深化・推進していくことが重要となっています。

今年度は令和6年度から令和8年度を期間とした「第10次島田市高齢者保健福祉計画・第9期島田市介護保険事業計画」を策定し、より一層「地域包括ケアシステム」を深化・推進していきます。

島田市 健康福祉部 長寿介護課

## 介護相談員派遣事業の概要

市から派遣された介護相談員が介護サービス事業所等を訪問し、利用者や家族から介護サービスの良かったことや疑問、不安などに感じていることを聞き、そのような「利用者の声」を介護サービス事業所等につなげる「橋渡し」をしながら、介護サービスの質の向上につなげる取り組みをしています。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが令和5年5月8日から5類感染症に移りましたが、その後も感染防止のため、全ての事業所へ訪問できる環境ではありません。しかし、今後も感染状況に応じて派遣事業を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



【介護相談員 集合写真】(敬称略)

上段左から 小野勝彦、水野京子、横田一女  
下段左から 渡邊幸江、寺川百合子、佐野恵子

# 島田市緑茶化計画

## 訪問先介護サービス提供事業所等の様子

訪問先での事業所の様子、職員や利用者の声などを、介護相談員が作成した報告書から皆さまにお届けします。



### 施設の様子

- 月1回デイサービス会場を地域住民に開放して、レクリエーション等を行っています。
- 一日の流れも事業所側でなく、入所者一人一人の生活リズムを大事にしているなど、細やかな配慮を感じます。

### 職員の様子・声

#### (様子)

- 沢山の利用者の中に、何人もの職員の方々がいて、目配りや気配りが行き届いているように思えました。

#### (声)

- 利用者さんに接することはもちろんですが、ご家族と強いつながりができることに喜びとやりがいを感じています。
- 一般的に、介護職は‘キツイ’仕事だと思われがちです。でも、‘キツイ’ということだけをとって見ても、介護職だからということにはならないと思います。むしろ、人生の先輩として教えてもらうことが多いです。その人らしさを大切にしていけたらと思います。何より、‘ありがとう’と言われることが一番嬉しいし、励みになります。

### 利用者の声

- リハビリを終えた94歳の女性は、「足がだんだん動くようになった。とても気持ちよくて、家にいるよりもここがとていいよ」と笑顔でした。
- 食事の後でテーブルを拭いていた入所者に声をかけました。「ここでは色々、やってもらって申し訳ない。何もなくていいのかな?」と話してくれました。
- 「ここに来ると楽しいよ。毎日来たいよ。」と話す方が何人もいました。

## 介護サービス事業所職員との意見交換会を行いました!

令和6年1月にアクタガワハートフルホーム島田東(認知症高齢者グループホーム)の職員の方と介護相談員との意見交換会を行いました。

感染症対策のため、訪問時間が以前に比べ短くなっている中、職員の方達からじっくりとお話を聞くことができ、充実した時間でした。



## 新たに介護サービス提供事業を始めた事業所を紹介します

令和5年4月から令和5年5月の間に新たに介護サービス事業を開始した3つの施設の紹介をします。

### 一期一会のゆかり (小規模多機能型居宅介護) 住所: 島田市横井4丁目7-3



※令和6年1月23日に管理者の谷澤<sup>たにざわ</sup>さんからお話を伺いました。

Q: 事業所の理念や方針を教えてください。

A: 一期一会トータルケアグループの介護理念である「わたしたちは、あなたの「今を生きる」「明日を生きる」そして「人生を逝き」幸せの架け橋として、そこに在り続けます。」を私達も実現するため、日々努力しています。

Q: 現在の利用状況と今後の見込みはどのようにお考えですか。

A: 登録定員29人に対して、25人です。今後は、職員の新規採用を進め、相談いただく方のニーズに応えられるよう、利用者を増やしていきたいと思っています。

Q: 利用者に対して心がけていることを教えてください。

A: 機能訓練やリハビリのない事業所ですが、利用者の方々が過ごしていただく中で、様々な体操やレクリエーションを行い、「今日一日が楽しかった」と感じていただける日々を積み重ねていきたいと考えています。

### アクタガワハートフルホーム島田東 (認知症高齢者グループホーム)住所: 島田市東町1394



※令和6年1月24日にホーム長の益田<sup>ますだ</sup>さんからお話を伺いました。

Q: 事業所の理念や方針を教えてください。

A: 理念は「地域と寄り添い、笑顔で安心できる生活の実現」です。現在は、新型コロナ感染対策で、地域の方との交流が少ない状況ですが、これから交流の機会をつくっていく中で地域の方とのふれあいを通じ、自宅にいるような環境づくりをしていきたいと考えています。

Q: 現在の利用状況と今後の見込みはどのようにお考えですか。

A: 定員18人に対して、入居されている方は15人です。3部屋空きのある状況ですが、入居希望の間合せもあり、今後、入居予定をしている方が何人かいらっしゃいます。

Q: 利用者に対して心がけていることを教えてください。

A: 人生の先輩であり、学ぶことも多い方々です。長い時間をともにすると、慣れあいが生じてきてしまうことがありますが、そのようなことが起きないように、1人1人に対して尊敬の気持ちをこめて接するように心がけています。

### 古民家デйнаズナ 住所: 島田市河原2丁目17-2



※令和6年1月24日に管理者の石母田<sup>いしもた</sup>さんからお話を伺いました。

Q: 事業所の理念や方針を教えてください。

A: 理念の1つは、「誰もが、ここ「なずな」に来て良かった...とと思っていただけるよう、感謝と笑顔を忘れず、大切に過ごします」です。方針は、「もうひとつの我が家」と思っていただけのように、お一人お一人のその人らしさを大切にしています。

Q: 現在の利用状況と今後の見込みはどのようにお考えですか。

A: 定員13人のところ1日4~9人ほどの方にご利用いただいています。画一的な時間割を設けていないため、今後もその方が希望する形で過ごしていただけるよう工夫しながら、利用者を増やしていきたいと考えています。

Q: 利用者に対して心がけていることを教えてください。

A: 利用者やその家族の方々のお話を聴き、その方が何を思われて、どのような希望を持たれているのか、を最大限に理解していくことです。そして、そのことに対して出来る限りお手伝いをさせていただき、話し合い工夫していくことです。